

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 12

請求番号	P08107	文書番号	1 及び 3	年代	江戸期、明治期
史料名	大名家の行列図 文書番号 1 武州川肥城主松平大和守斉典公御嫡子紀五郎殿初メテ登城之図 文書番号 3 徳川親藩旧前橋城主拾七萬石松平家江戸府内供立之図				
形態	軸 1 巻	複製	あり・なし (1のみ複製物・デジタル画像あり)		
備考	寄贈の古文書(豊田芳郎家文書) 文書番号 1 は「授業で使えるぐんまの資料」に掲載あり				
史料概要	<ul style="list-style-type: none"> 文書番号 1 原寸 16cm×600cm 旧前橋藩士豊田家に伝わる絵巻で、川越城主(前橋は川越の分領)松平斉典(なりつね)の娘婿紀五郎(斉省 なりさだ)が松平嫡子として初めて江戸城に登城した時のもの。松平紀五郎は 11 代将軍家斉の 24 男で文政 10 年(1827)に松平斉典の婿養子に迎えられたが、天保 12 年(1841)に 19 歳で死去した。 文書番号 3 原寸 16cm×598cm 天保 8 年(1837)に仁孝天皇が勅使を江戸へ送ったとき、将軍家慶は江戸城でこれを歓待するとともに、諸大名もお祝いのために登城することとなった。史料はこの時に登城した川越城主松平斉典(前出)の大名行列の様子を明治時代になって再現した絵巻。 				
指導要領(内容)との関連	<小 6> (2)-ア-(キ) 江戸幕府の政策 <中 歴> B-(3)-ア-(イ) 幕府の成立と大名統制 <高日探> C-(3)-ア-(ア) 幕藩体制の確立				
活 用 例					
活用単元	江戸幕府の成立と政策				
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> 幕府の大名統制についての理解を促す史料として、導入及び追究する場面での活用。 				
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> デジタルデータを活用することで全体に提示することができる他、児童生徒にデータそのものを活用させることで、調べ学習の史料とすることができる。また、複製物を教室や廊下に展示し、いつでも自由に見ること出来るようにすることで、意欲関心を高めることができる。と考える。 				
予想される生徒児童の反応など	<ul style="list-style-type: none"> 参勤交代の大名行列ではないが、「大名家の行列」自体の様子や当時の幕府、諸藩の政策の一部を読み取ることができる史料と考えられる。描かれた人物の服装や道具、人数などから視覚的に詳細な情報を捉えるだけでなく、鮮やかで味わいある史料により児童生徒の関心を引き寄せることができるであろう。 				

武州川肥城主松平大和守斉典公御嫡子紀五郎殿初メテ登城之図 (P08107 1) 部分



徳川親藩旧前橋城主拾七萬石松平家江戸府内供立之図 (P08107 3) 部分

